

並行在来線と公共交通の 明日を考える集い

北陸新幹線が果たす役割はおおきい。しかし、その影で現在利用している「北陸本線」は各県ごとの「第三セクター」化方式で運行が実施されます。

利便性は？

運賃は？

安全性は？

経営難で
廃止に？

貨物ルート
は？

労働者の
雇用は？



第1部 記念講演

「輝くローカル鉄道を目指して」
並行在来線の活かし方を考える

講師：古木 圭介氏 〈肥薩おれんじ鉄道社長〉

第2部 リレートーク

テーマ：並行在来線 ～私はこう考える～

- ・富山県地方自治研究センター
- ・富山県勤労者協議会連合会
- ・JR西日本労働組合
- ・公共交通をよくする富山の会
- ・JR貨物労組関西地本

●とき 2012年7月14日(土)

14:00~16:30

●ところ ボルファートとやま 4F 『琥珀の間』

入場
無料

呼びかけ人団体

- ・富山県平和運動センター
- ・富山県地方自治研究センター
- ・富山県勤労者協議会連合会
- ・社会民主党富山県連合
- ・JR貨物労組関西地本
- ・JR西日本労働組合(事務局)



古木 圭介 (こぎ けいすけ)

〈主なプロフィール〉

■ (株) グローバルユースビューロー社 取締役
(2009年4月より非常勤)

■ 肥薩おれんじ鉄道株式会社 代表取締役社長
(2009年7月1日より)

■ (主な役職)

- ・ 鹿児島日英協会 理事
- ・ (財) ジェスク音楽文化振興会 理事
- ・ 霧島国際音楽祭 鹿児島友の会 事務局長
- ・ 鹿児島市レクレーション協会会長
- ・ 日本海洋少年団 南九州地区連盟会長
- ・ 鹿児島県宝山ホール文化芸術総合アドバイザー



国の政策で国鉄が解体され6社のJRが誕生し、株式会社として経済効率一辺倒で経営が進んできた結果、地方のローカル線は財政が困難な地方自治体に投げられた格好です。

中央集権の進むなか「公共交通」も不採算路線は切り捨てられてしまいそうです。

大都会以外にも多くの日本人が住んでおり、農業や水産業、そして工場で働き日本を支えています。ややもすると永田町、霞が関で働いていると陽のあたる部分しか見えなくなっているのでしょうか。

私も3年間、国交省鉄道局、九州運輸局、JR九州、政治家などに実情と地方鉄道の重要性を訴え続けてきました。まだまだ十分理解はされるところまでは至っていませんが、今後は皆さま方とさらに協力して地方鉄道の存続に尽力していくつもりです。



会場案内図



【呼びかけ人団体 (事務局)】

JR西日本労働組合金沢地方本部

〒929-0341

石川県河北郡津幡町北中条ツ1番地

TEL・FAX 076-289-0790